

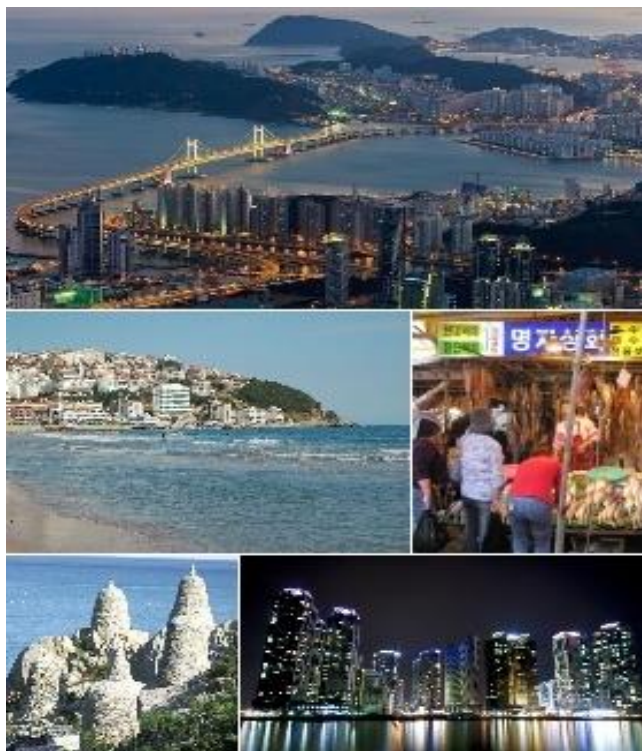
## 国際理解出前講座

# 故郷釜山の昔と今

講師：孫そん 珠美じゅみ

6月15日(水) 安室公民館で、国際理解出前講座「故郷釜山の昔と今」を開催しました。講師の孫珠美さんは韓国・釜山の出身で、活気のある釜山の様子や韓国の食文化などをご自身の写真とともに紹介されました。

まず、講師が韓国の伝統服であるチマ・チョゴリを着て登場すると、「きれい!」「かわいいですね!」と声があがりました。



釜山は、日本と距離的に近いことや歴史的な経緯から、日本式の建物が残っていたり、日本の言葉がそのまま使われていたりするそうです。

一方、食べ物や食事のマナーなど、日本と違っているところも、またたくさんあります。

参加者の中には、何度か韓国を訪問したことがある方もいらっしゃって、写真を見ていろいろな思い出がよみがえったようでした。

ミニ韓国語講座もとても好評で、日本と同じ音を持つ言葉や、日本に入ってきて定着した韓国語なども教わりました。「独身」という意味を持つ「チョンガ」がキムチの名前にもなっていることを聞いて、「どんなキムチですか?」と参加者から質問がありました。

伝統楽器であるチャングを弾きながら、なじみのある「アリラン」の歌も一緒に歌うことができ、まだ行ったことがなかった人たちにも、韓国・釜山を体験していただけたに違いありません。

